

基本的な使いかた

各部のなまえ



リチウムイオン電池パックの取り付けかた



- リチウムイオン電池パック (BN60) を使用するときは、必ず充電してください。
- 長時間使用しない場合は、リチウムイオン電池パック (BN60) を取り外ししてください。
- リチウムイオン電池は常温で約300回繰り返し使用できます。正しい充電を行っても使用できる時間が短くなっていく場合は電池の寿命です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、リサイクル施設へお持ちください。
- また、大気汚染防止のため、電池パックを分解しないでください。
- アルカリ単3乾電池を使用する場合は、乾電池の正極（+）と電池ケース（JCPBN0001）をお互い嵌め込んでください。

使用時間の目安

使用できる時間の目安は次のとおりです。	電池残量はアイコン表示で知らせます。
リチウムイオン電池パック (BN60)	電池残量はアイコン表示で知らせます。
内蔵スピーカ使用時 → 約24時間	電池残量はアイコン表示で知らせます。
イヤホン使用時 (LEDインジケータオフ) → 約30時間	電池残量はアイコン表示で知らせます。
フルパワー使用時	電池残量はアイコン表示で知らせます。
内蔵スピーカ使用時 → 約40時間	電池残量はアイコン表示で知らせます。
イヤホン使用時 (LEDインジケータオフ) → 約60時間	電池残量はアイコン表示で知らせます。
※ 6秒送信、6秒受信、48秒待機時の測定条件になります。	電池残量はアイコン表示で知らせます。
上記の使用時間は目安であり、実用には使用できる時間は、使い方や周囲の環境などによって異なります。	電池残量はアイコン表示で知らせます。

充電のしかた

- ① チャージャースタンドの底面に、ACアダプタのプラグを差し込みます。
- ② ACアダプタをコンセントに差し込み、電源を切ったトランジシーバーをチャージャースタンドに挿し込みます。
- ③ LEDインジケータが赤く点灯し、充電が開始されます。
- ④ 充電が完了すると、LEDインジケータが緑色の点灯に変わりますので、トランジシーバーをチャージャースタンドから取り外してください。また、ACアダプタをコンセントから外してください。
- 充電時間は、空の充電済電池パックで最大約9時間です。充電時間は電池パックの残量によって変化します。
- 充電するときは、必ずトランジシーバーの電源を切ってください。
- 電源を入れたまま充電すると十分に充電ができず、LEDインジケータが赤色で点滅することがあります。そのような場合は一度電源を切って再度充電を行ってください。その後LEDインジケータが緑色の点灯になれば充電が完了となります。
- 正常な充電方法にも関わらず、LEDインジケータが赤色で点滅する場合は、充電を中止してお買い求めの販売店、もしくは弊社PCR事業部までご相談ください。

基本的な通話のしかた

本機には、状況に応じて選べる3つの通話方法（ノーマルモード、グループモード、プライバシーモード）があります。通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の「グループモードの設定」を行い、プライバシーモードについては、右記の「プライバシーモードの設定」を行ってから、下記の方法で通話してください。

- ① 通話モードを切り替えるには、MODE (Om) ボタンを押すたびにモードが切り替わります。初期モードは「ノーマルモード」に設定されています。



- ④ 相手の声を聞きながら、音量調節ボタンで音量を調節してください。
- ⑤ 通話して送るべき時間は3分以内です。3分間通話して送るべき時間が経過すると、自動的に通話終了となります。また、送信が停止する30秒間になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ピピッ」と電子音が鳴ります。また、送信が停止した場合、その後2秒間はPTT（送信ボタン）を押しても「ブププププププ...」と警告音が鳴り続けます。
- 相手の発信を待っているときは、送信できません。LEDインジケータが青色で点灯しているときは、PTT（送信ボタン）を押しても「ブププププププ...」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

ボタンをロックする

- 誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないうようにすることがあります。
- ① 工場出荷時は、▲/▼ボタンとMODE (Om) ボタンがロックするよう設定されています。
 - 音量調節ボタンの「Tx」を押しながら電源を入れると、音量調節ボタンもロックされるようになります。
 - ボタンをロックすると、セットメニューによる設定の変更やオールセットもできなくなります。これらの操作は、ロックを解除してから行うことができます。

ボタンをロックするには

- ① MODE (Om) ボタンを長押し（約1秒）すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。
- 「Om」が点灯します。
- ② 再度MODE (Om) ボタンを長押し（約1秒）すると、「ブプッ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。
- 「Om」が消滅します。

SP/MIC ジャックの接続について

- アクセサリのマイク/イヤホンポートを接続しているときに電源を入れると、電力障害を防ぐため、自動的に音量が下がります。
- 音量レベルを半分以下にしているときのみ、動作します。
- 音量レベルが半分以下の場合 → 自動的に音量が下がる
- 外部マイク接続時は防沫にはなりません。外部マイク接続時雨天等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝ってトランジシーバー内部に入らないようご注意ください。故障の原因となります。

ベルトクリップの取り外しかた / 向きの変えかた



便利な使いかた

通話モードの切り替えかた

- 通話を行うモード（通話モード）として、次の3通りの方法があります。状況に応じて使い分けてください。
- ノーマルモード → 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき。
- グループモード → 他のグループの通話が無視できずわすれにくいとき。チャンネル番号とグループ番号が一致すると通話ができます。
- プライバシーモード → 他の人に通話が聞かれないとき。

通話モードを切り替えるには



グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が無視できずわすれにくい」そんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定しておく仲間同士の通話を優先させることができます。

グループモードにするとき、受信側で「グループ」音をカットして聞きやすくなります。アクセサリのマイク/イヤホンポート、プリアンプマイク/イヤホンポートを使用している場合は、グループモードに設定されていることをお知らせします（詳細は「セットメニューによる機能設定」の「PTTディレイ機能」を参照してください）。



① MODE (Om) ボタンを押す

- ① MODE (Om) ボタンを押す
グループモードにします。
- ② 電源を切る
電源ボタンを長押し（約1秒）すると、電源が切れます。

③ MODE (Om) ボタンを押しながら電源を入れる

- ③ MODE (Om) ボタンを押しながら電源を入れる
セットメニューの「GP-01」が表示されます。
- ④ グループ番号を選ぶ
▲または▼ボタンを押して「01～38」の中から任意のグループ番号を選択します。

⑤ PTT（送信ボタン）を押す

- ⑤ PTT（送信ボタン）を押す
セットメニューの設定が終了します。左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。他人の通話が無視できる場合は、グループ番号を変更してください。

プライバシーモードの設定

- プライバシーモードに設定していない人は、通話内容を聞き取ることができません。
- プライバシーモードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。
- 同じチャンネルでプライバシーモードに設定したトランジシーバーでは、通話内容を聞くことができません。
 - 通話内容の交換はできません。
 - プライバシーモードに設定したトランジシーバーでも、通話できない場合があります。
- ① 「プライバシー」が点灯するまでMODE (Om) ボタンを何度か押します。
 - ② 「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。
- ノーマル+プライバシーモード → グループ+プライバシーモード

DCSコードに切り替える

- グループモードで、グループコード（38種類）が不足した時など、グループコードに替えて、104種類のDCSコード（d023～d754）を使用することができます。
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンと左側の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ DCSコード設定状態になり、「OFF」が点滅しています。▲または▼ボタンを押して、「d023～d754」の中から、希望のDCSコードを選択します。
 - ④ PTT（送信ボタン）を押します。
 - ⑤ DCSコードが設定され、グループコードの代わりに「dc」が表示されます。PTT（送信ボタン）以外に、電源ボタンを長押し（約1秒）して電源を切っても、DCSコードの設定を完了させることができます。
 - ⑥ 左記の「通話モードの切り替えかた」のグループモードと同様に通話することができます。
- 設定の解除・変更のしかた
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンと左側の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ 現在設定されているDCSコード「dxxx」が点滅するので、▲または▼ボタンを押して、「OFF」（解除）または別のDCSコードを選択します。
 - ④ PTT（送信ボタン）を押します。
 - ⑤ DCSコード設定が終了し、ノーマルモードに戻ります。
- DCSコードの確認
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンと▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ 現在設定されているDCSコード「dxxx」が点滅します。
 - ④ 確認が終わったら、PTT（送信ボタン）を押します。

セットメニューで設定する便利な使いかた ①

PTT（送信ボタン）を押さずに送信する - VOX機能 -

- PTT（送信ボタン）を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ 「VOX」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「VOX」にあわせします。
 - ⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
 - ⑥ 設定操作を行う前の状態に戻ります。
- VOXの感度や遅延時間、セットモードで電力が設定することができます。詳しくは裏面の「セットメニューによる機能設定」をご確認ください。
 - VOX機能はPTTホルド機能および自動マイク感度切り替え機能と同時に利用することはできません。

送信状態を保持する - PTTホルド機能 -

- PTT（送信ボタン）を一度押すと、再度PTT（送信ボタン）が押されるまで、送信状態を保持させることができます。
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ 「PHOLD」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「PHOLD」にあわせします。
 - ⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
 - ⑥ 設定操作を行う前の状態に戻ります。
- 通話して送るべき時間は3分以内です。
 - VOX機能と同時に利用することはできません。

瞬時に音量を切り替える - ワンタッチボリューム機能 -

- アクセサリの外部マイクを使用している時、PTT（送信ボタン）を押すと、瞬時に設定した音量に上げる、または元の音量に戻すことが可能です。
- ① 電源ボタンを長押し（約1秒）して、電源を切ります。
 - ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約0.5秒）して、電源を入れます。
 - ③ 「PSV」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
 - ④ 左側の▲または▼ボタンで、希望の音量レベルを選択します。
- 音量は変化せずに送信ボタンとして動作します
- 音量がメーター1～2個分増加します
- 音量がメーター2～3個分増加します
- 音量がメーター4～5個分増加します
- ⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
 - ⑥ 設定操作を行う前の状態に戻ります。
 - 送信は外部マイクのPTT（送信ボタン）で行ってください。